

|            |      |       |                 |            |       |
|------------|------|-------|-----------------|------------|-------|
| 施策番号       | 117  | 施策名   | 人権尊重と人権意識の高揚    | 主管課名       | 保健福祉課 |
| 総合計画<br>体系 | 政策名  | 1     | こころあたたかい福祉の里づくり | 令和 2 年度課長名 | 水島 剛  |
|            | 関係課名 | 生涯学習課 |                 | シート作成者     | 片田 知宏 |

1. 施策の対象と意図の指標

| ① 施策の対象(誰、何が対象か)            |  | ③ 対象指標(対象の数・規模) |                              | 単位   | 区分  | 30 年度 | 1 年度   | 2 年度   | 3 年度   | 4 年度   |
|-----------------------------|--|-----------------|------------------------------|--|-----|-------|--------|--------|--------|--------|
| ア 町民                        | →  | ア               | 町民人口                         | 人  | 見込値 |       |        | 12,143 | 11,970 | 11,800 |
|                             |  |                 |                              |  |     | 実績値   | 12,926 | 12,754 | 12,625 |        |
| イ                           | →  | イ               |                              |  | 見込値 |       |        |        |        |        |
|                             |  |                 |                              |  |     | 実績値   |        |        |        |        |
| ウ                           | →  | ウ               |                              |  | 見込値 |       |        |        |        |        |
|                             |  |                 |                              |  |     | 実績値   |        |        |        |        |
| ② 施策の意図(対象をどうしたいのか)         |  | ④ 成果指標(意図の達成度)  |                              | 単位   | 区分  | 30 年度 | 1 年度   | 2 年度   | 3 年度   | 4 年度   |
| ア 人権への意識を高め、人権を尊重した行動をしてもらう | →  | ア               | 児童・高齢者虐待、DVが人権侵害だと知っている町民の割合 | %  | 目標値 | 94.5  | 95.0   | 95.0   | 92.0   | 93.0   |
|                             |  |                 |                              |  | 実績値 | 93.1  | 91.6   | 94.8   |        |        |
|                             |  |                 |                              |  | 達成率 | 98.5% | 96.4%  | 99.8%  | 103.0% | 101.9% |
| イ                           | →  | イ               | 高齢者虐待件数                      | 件  | 目標値 | 2     | 1      | 0      | 4      | 3      |
|                             |  |                 |                              |  | 実績値 | 7     | 5      | 4      |        |        |
|                             |  |                 |                              |  | 達成率 | 28.6% | 20.0%  | 0.0%   | 100.0% | 75.0%  |
| ウ                           | →  | ウ               | 児童虐待件数(要保護児童)                | 件  | 目標値 | 20    | 20     | 15     | 30     | 27     |
|                             |  |                 |                              |  | 実績値 | 29    | 35     | 40     |        |        |
|                             |  |                 |                              |  | 達成率 | 69.0% | 57.1%  | 37.5%  | 75.0%  | 67.5%  |
| エ                           | →  | エ               | 人権講演会参加者数(参考)                | 人  | 目標値 | 100   | 100    | 100    | 50     | 100    |
|                             |  |                 |                              |  | 実績値 | 51    | 48     | 0      |        |        |
|                             |  |                 |                              |  | 達成率 | 51.0% | 48.0%  | 0.0%   | 0.0%   | 0.0%   |
| ⑤ 成果指標設定の考え方                | ア、児童・高齢者虐待及びDV等が人権侵害にあたることの町民の認知度<br>イ、ウ、件数が人権侵害の指標と考えられるため<br>エ、毎年開催している人権講演会の参加者数をもって、意識高揚の参考指数とした |                 | ⑥ 成果指標の把握方法と算定式等             | ア、町民アンケート調査(対象者1,000人中481人が回答)<br>イ、介護保険運営委員会資料<br>ウ、エ 保健福祉課資料 |     |       |        |        |        |        |

2. 施策の役割分担

|                       | ① 住民の役割 (自助・共助・協働でやるべきこと)   | ② 行政の役割 (町・都道府県・国がやるべきこと)   |
|-----------------------|---|---|
| 施策成果向上に向けた住民と行政との役割分担 | <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭や地域で差別や偏見のない人権意識の高揚を図る。</li> <li>いじめや虐待を受けている側、している側双方の変化に気づき、早期発見することにより重大事案に発展しないようにする。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>学校教育、生涯教育の場で人権意識の高揚を図る</li> <li>いじめや虐待を気軽に、また秘密保持の第三者機関として相談することのできる機関の設置継続と啓蒙を図る</li> <li>広報・ホームページ等を活用して人権意識の高揚を図る</li> <li>事案に対して迅速かつ適切な対応ができる体制を継続していく</li> <li>家庭や学校でのいじめ対策を継続していく</li> </ul> |

3. 評価結果

| 1. 施策の成果水準とその背景・要因   |  |
|--|--|
| 2 年度<br>の<br>評価結果  | ① 成果指標の時系列比較(成果は向上したか? 低下したか? 要因は?)<br>・取り組んだ成果は上がっているものと思われる(虐待の定義等が普及された結果と考えられる。)<br>・高齢者の虐待は件数4から7件で推移しており、各事業所とも連携した対応が図れており、今後は発生させない取り組みが必要と考えられる。<br>・児童虐待は増加しているが、関係機関が連携し積極的に虐待防止に取り組んでいる結果、潜在的な部分が洗い出されていると考えられる。また、保育園・幼稚園、小中学校を通じて要保護児童の見守りや情報共有を行うと共に研修への積極的な参加等により職員の虐待対応力の向上に努め、重大な事案への抑制を図っている。 |
|  | ② 他団体との比較(近隣市町、県・国の平均と比べて成果水準は高いのか、低いのか、その背景・要因は?)<br>・他団体との比較は困難であるが、一定の成果があると思われる。また、潜在化している問題であることから、積極的な対応が必要である。  |
|  | ③ 住民の期待水準との比較(住民の期待よりも高い水準か、低い水準か、どんな意見や要望が寄せられているか?)<br>・人権講演会の参加者数が年々伸び悩んでいるなど住民の期待にはあまり答えられていないと思われる。(R2年度はコロナウイルス感染症予防の観点から中止とした。)町民アンケートには、人としての権利に対する文化や教育に目を向けるべきとの意見があり、なお一層の人権啓発の取り組みが重要と考えられる。   |
|  | 2. 施策の成果実績に対する 2 年度の取組や目標達成度<br>■ 2 年度の主な取組の成果(改革改善した取組、目標の達成度は?)<br>・人権学習への参加や人権運動協議会等各種団体への支援を行った。<br>・高齢者・児童虐待に関しては各関連機関と連携を密にとり、重点的に取り組んでいるが、目標値には届かなかった。  |
| 3. 施策の今後の課題と改革改善の方向(うまくいかなかった取組や事務事業は? その原因は?)<br>・差別や偏見のない社会を形成するためには、今後ともあらゆる場で、人権教育を推進していく必要がある。そのためには、講演会、啓蒙活動・虐待やいじめのより早期発見・より早期対応を進めることが必要である。<br>・虐待、いじめは隠蔽される問題であるので、なかなか発見が難しいが、小さなシグナルを見落とさないよう関係機関と連携をより密にして、取り組む必要がある。 |  |